

- ・インフルエンザの東京都の定点当たり報告数は、21.93で警報レベルが継続しています。
- ・伝染性紅斑の東京都の定点当たり報告数は、2.43で警報レベルが継続しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、3.73で今後の動向に注意が必要です。

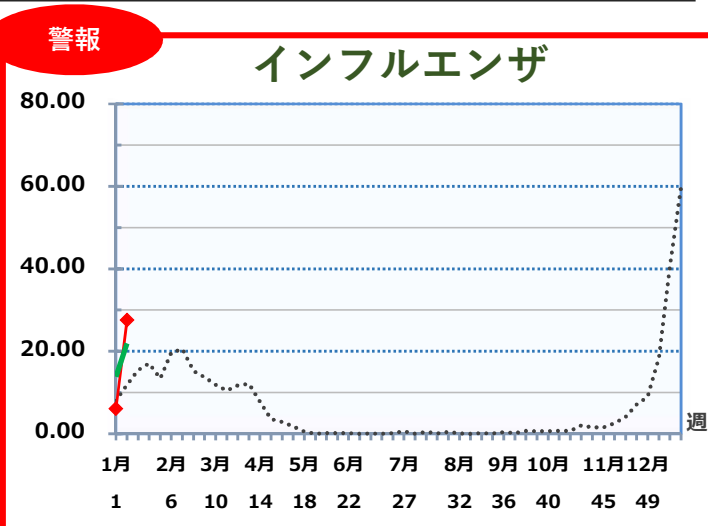
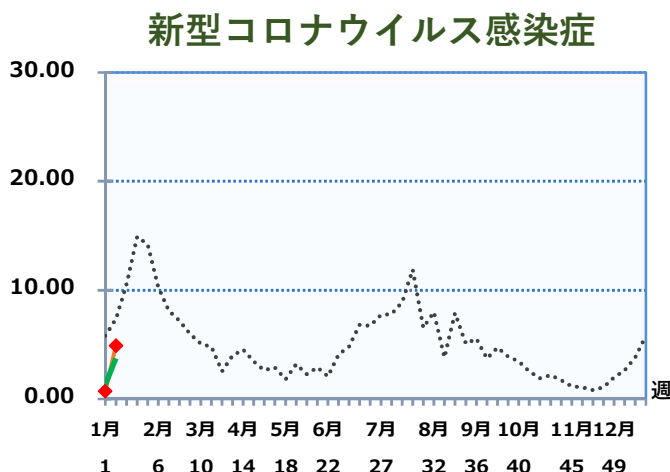
全数報告対象疾患報告数（北区届出分）

- ・五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2024北区
—◆— 2025北区
— 2025東京都



Topics

インフルエンザ・新型コロナウイルスを予防しましょう！

【症状や潜伏期間は？】

インフルエンザと新型コロナウイルスはともに、発熱・上気道症状（咳・鼻水・咽頭痛）・全身倦怠感・筋肉痛など、症状が似ています。潜伏期間は、インフルエンザが1～3日、新型コロナウイルス感染症が3～5日と言われています。

【感染経路は？】

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、感染した人の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスを口や鼻から吸い込む飛まつ感染と、ウイルスの付いた手で周囲の物に触った後、他の人がその物に触れ、その手で口や鼻に触れる接触感染により感染していきます。

【感染を防ぐためには？】

①こまめな手洗い・手指消毒

ドアノブや電車のつり革など、様々なものに触れることで、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時、調理の前後、トイレの後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。

②正しい咳エチケット

咳やくしゃみを手で抑えてしまうと、その手が様々なものに触れることで他の人に感染が連鎖していきます。咳やくしゃみをする際は、ティッシュやハンカチ、とっさの場合は洋服の袖で口や鼻を抑えることが大切です。また高齢者施設や医療機関のほか、混雑している場所に行くときにマスクを着用することも効果的です。

③空気の流れを作る換気とワクチン接種

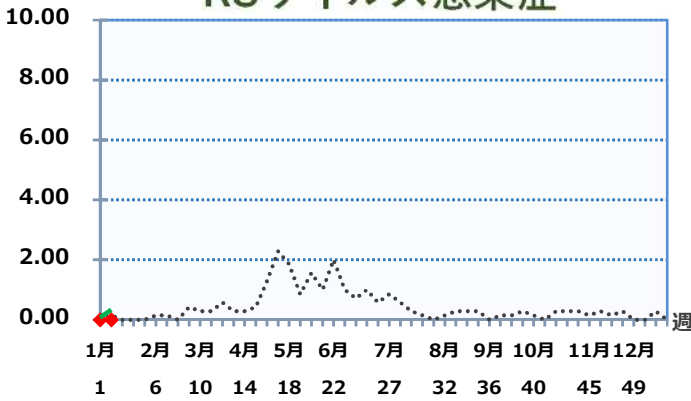
部屋の2方向の窓や扉を開けて、空気の流れを作りましょう。換気の悪い場所や人混みを避けることも有効です。またワクチンを接種することは、発症を予防する効果があり、感染した際の重症化を防ぐことが期待できます。正しい感染対策でインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症を予防しましょう。

定点把握対象疾患

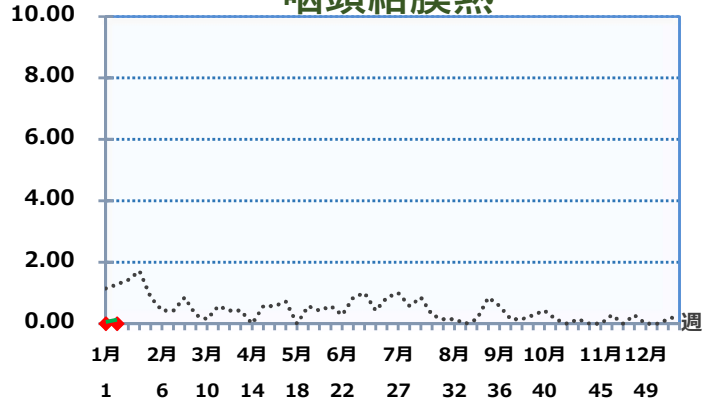
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

..... 2024北区
◆ 2025北区
— 2025東京都

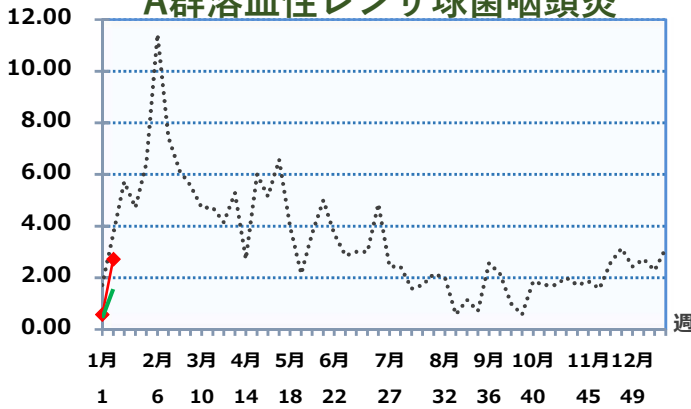
RSウイルス感染症



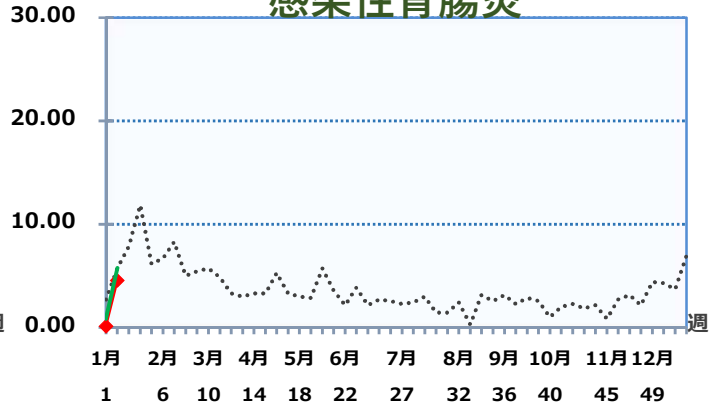
咽頭結膜熱



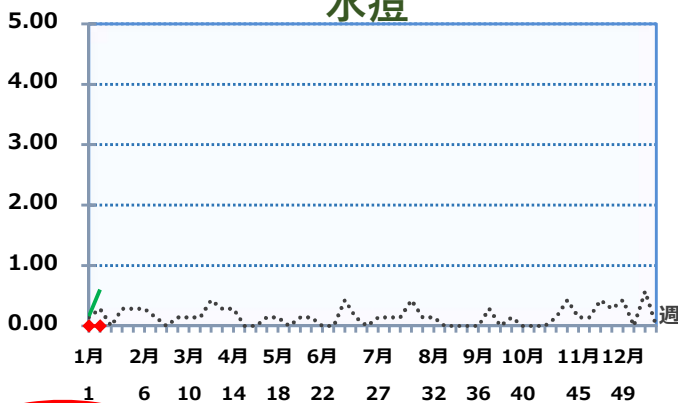
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



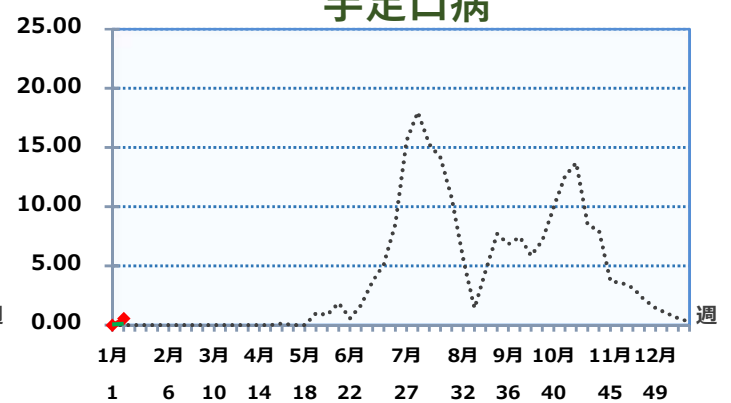
感染性胃腸炎



水痘

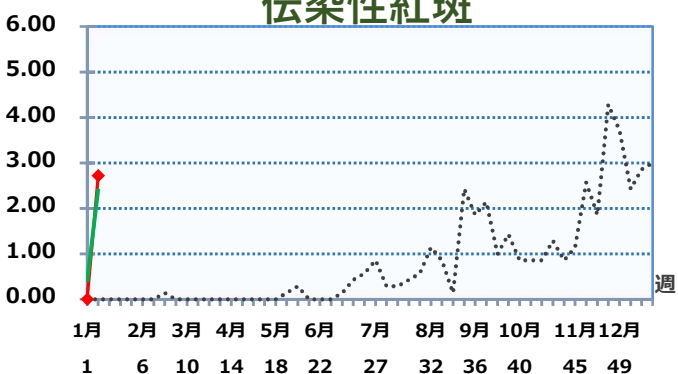


手足口病

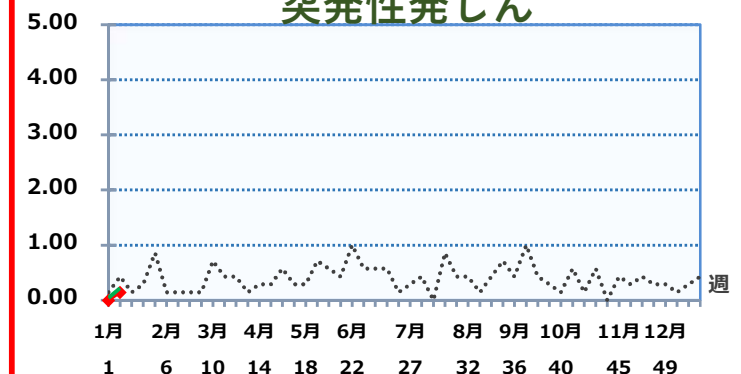


警報

伝染性紅斑



突発性発しん

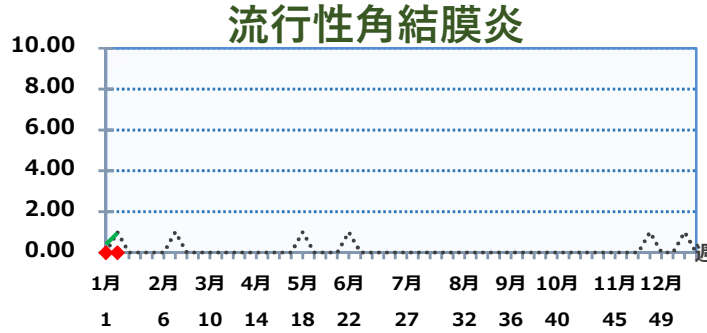
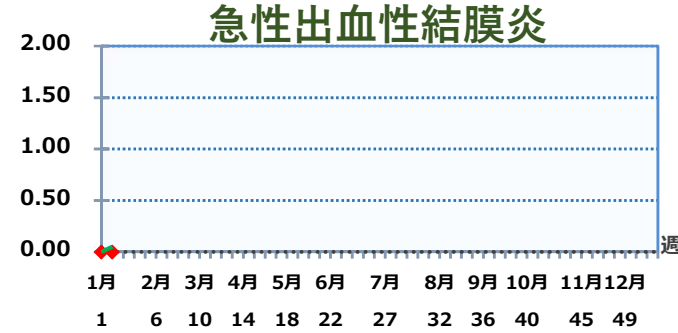
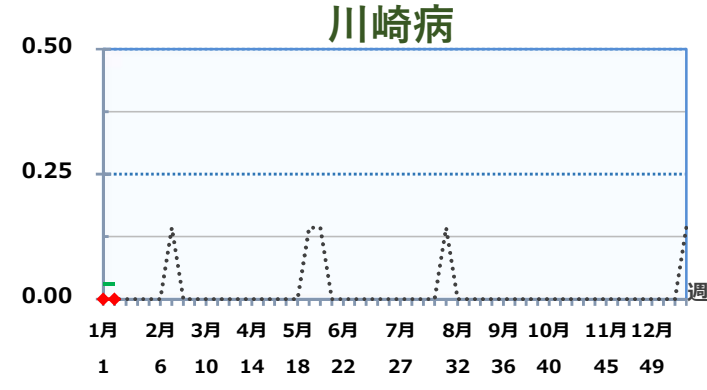
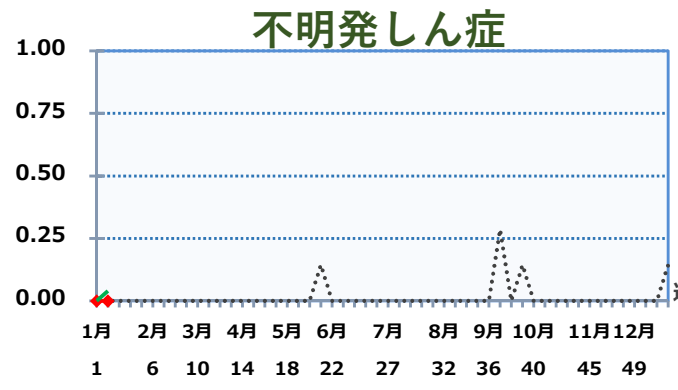
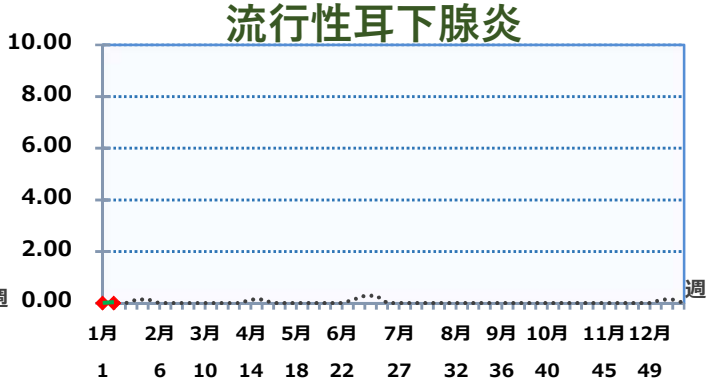
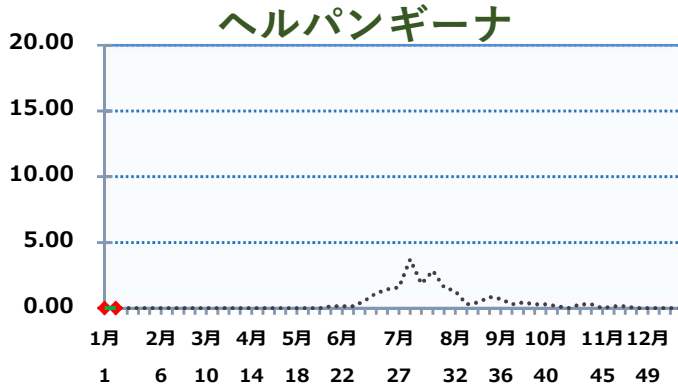




定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

- 2024北区
- ◆ 2025北区
- 2025東京都



性感染症 (2024年12月分まで) ※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2025年1月分は2025年第6週号にて掲載予定です。

